



2019年5月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年1月11日

上場会社名 株式会社 コスモス薬品

上場取引所 東

コード番号 3349 URL <http://www.cosmospc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横山 英昭

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 柴田 太

TEL 092-433-0660

四半期報告書提出予定日 2019年1月15日

配当支払開始予定日

2019年2月13日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (記者及びアナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年5月期第2四半期の連結業績(2018年6月1日～2018年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年5月期第2四半期	298,372	10.2	12,327	19.8	13,498	16.5	9,005	15.7
2018年5月期第2四半期	270,835	9.6	10,292	13.4	11,589	11.1	7,781	10.4

(注) 包括利益 2019年5月期第2四半期 9,016百万円 (15.7%) 2018年5月期第2四半期 7,790百万円 (10.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年5月期第2四半期	454.83	
2018年5月期第2四半期	393.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年5月期第2四半期	255,035	117,014	45.9
2018年5月期	250,609	108,888	43.4

(参考) 自己資本 2019年5月期第2四半期 117,014百万円 2018年5月期 108,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年5月期		45.00		45.00	90.00
2019年5月期		45.00			
2019年5月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年5月期の連結業績予想(2018年6月1日～2019年5月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	610,000	9.3	23,000	1.1	25,500	1.0	17,650	0.1	891.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年5月期2Q	20,000,400 株	2018年5月期	20,000,400 株
期末自己株式数	2019年5月期2Q	200,833 株	2018年5月期	200,833 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年5月期2Q	19,799,567 株	2018年5月期2Q	19,799,567 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	8
商品区分別売上状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年6月1日～11月30日)におけるわが国の経済は、不安定な国際情勢など先行きが不透明な状況が続きました。また、国内の雇用環境は人手不足により賃金単価が上昇しているにも関わらず、個人消費は力強さを欠き、消費者の低価格志向はますます強くなっております。

このような状況の中、当社グループは消費者にとって「安くて、近くて、便利なドラッグストア」を目指して力を注いでまいりました。加えて、「毎日安い(エブリデイ・ロー・プライス)」政策を忠実に実行することで物流や店舗作業の平準化を行い、ローコストオペレーションの更なる推進を図りました。これにより、価格競争力を高め、ご来店いただくお客様に「高品質な商品をより安く」販売できるように努めてまいりました。

また、自社競合による一時的な収益性の低下も厭わず、次々と新規出店を行いました。同時に、新商勢圏への店舗網拡大も図ってまいりました。これにより、新規出店につきましては、中部地区に7店舗、関西地区に13店舗、中国地区に6店舗、四国地区に5店舗、九州地区に15店舗の合計46店舗となりました。また、スクラップ&ビルドにより5店舗を閉鎖し、当第2四半期連結累計期間末の店舗数は953店舗となりました。

なお、当社グループは事業区分が単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,983億72百万円(前年同四半期比10.2%増)、営業利益は123億27百万円(同19.8%増)、経常利益は134億98百万円(同16.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は90億5百万円(同15.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は2,550億35百万円となり、前連結会計年度末に比べて44億26百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金が82億98百万円減少し、有形固定資産が85億33百万円、商品が30億32百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は1,380億21百万円となり、前連結会計年度末に比べて36億98百万円減少いたしました。この主な要因は、長期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が19億30百万円、買掛金が27億55百万円減少し、未払法人税等が5億94百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は1,170億14百万円となり、前連結会計年度末に比べて81億25百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加等によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、前連結会計年度末に比べて82億98百万円減少し、133億69百万円(前年同四半期比36.8%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、得られた資金は100億44百万円(前年同四半期比14.0%減)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益132億71百万円、減価償却費62億42百万円等の増加要因、仕入債務の減少27億55百万円、たな卸資産の増加32億48百万円、法人税等の支払額37億50百万円等の減少要因によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は145億1百万円(前年同四半期比2.3%増)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出140億円、敷金及び保証金の差入による支出8億52百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は38億41百万円(前年同四半期比5.7%減)となりました。

これは、長期借入金の返済による支出19億30百万円、配当金の支払額8億90百万円、ファイナンス・リース債務の返済による支出10億20百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月期の連結業績予想につきましては、2018年7月12日に公表した連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,668	13,369
売掛金	91	166
商品	48,594	51,626
貯蔵品	155	190
その他	6,815	7,434
流動資産合計	77,325	72,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	118,981	126,206
土地	18,417	19,834
その他(純額)	16,577	16,469
有形固定資産合計	153,976	162,510
無形固定資産		
投資その他の資産	295	260
敷金及び保証金	12,330	12,714
建設協力金	3,821	3,892
その他	2,859	2,870
投資その他の資産合計	19,011	19,477
固定資産合計	173,284	182,247
資産合計	250,609	255,035
負債の部		
流動負債		
買掛金	105,062	102,306
1年内返済予定の長期借入金	3,199	2,011
未払法人税等	4,239	4,834
店舗閉鎖損失引当金	64	51
その他	13,870	14,106
流動負債合計	126,436	123,310
固定負債		
長期借入金	8,548	7,805
退職給付に係る負債	835	902
資産除去債務	1,552	1,615
その他	4,347	4,388
固定負債合計	15,283	14,711
負債合計	141,720	138,021

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,178	4,178
資本剰余金	4,610	4,610
利益剰余金	100,426	108,540
自己株式	△238	△238
株主資本合計	108,977	117,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1	1
退職給付に係る調整累計額	△90	△78
その他の包括利益累計額合計	△88	△77
純資産合計	108,888	117,014
負債純資産合計	250,609	255,035

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
売上高	270,835	298,372
売上原価	217,301	238,395
売上総利益	53,533	59,976
販売費及び一般管理費	43,241	47,649
営業利益	10,292	12,327
営業外収益		
受取利息	39	36
受取手数料	325	349
不動産賃貸料	820	614
固定資産受贈益	155	158
その他	374	342
営業外収益合計	1,714	1,501
営業外費用		
支払利息	45	39
不動産賃貸原価	346	229
その他	25	61
営業外費用合計	418	329
経常利益	11,589	13,498
特別利益		
受取保険金	—	80
補助金収入	8	—
特別利益合計	8	80
特別損失		
固定資産除却損	20	55
災害による損失	—	189
店舗閉鎖損失	17	26
店舗閉鎖損失引当金繰入額	51	35
特別損失合計	90	307
税金等調整前四半期純利益	11,507	13,271
法人税等	3,726	4,266
四半期純利益	7,781	9,005
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,781	9,005

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
四半期純利益	7,781	9,005
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	△0
退職給付に係る調整額	8	11
その他の包括利益合計	9	10
四半期包括利益	7,790	9,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,790	9,016

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2017年6月1日 至2017年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2018年6月1日 至2018年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,507	13,271
減価償却費	5,617	6,242
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	66	83
店舗閉鎖損失引当金の増減額(△は減少)	51	35
受取利息及び受取配当金	△39	△36
支払利息	45	39
災害による損失	—	189
補助金収入	△8	—
受取保険金	—	△80
固定資産除却損	20	55
店舗閉鎖損失	17	26
売上債権の増減額(△は増加)	△2	△74
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,756	△3,248
仕入債務の増減額(△は減少)	3,364	△2,755
その他	△1,113	212
小計	15,769	13,961
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△45	△39
法人税等の支払額	△4,120	△3,750
災害損失の支払額	—	△126
補償金の受取額	79	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,683	10,044
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△13,806	△14,000
有形固定資産の売却による収入	186	297
建設協力金の支払による支出	△252	△282
建設協力金の回収による収入	194	206
敷金及び保証金の差入による支出	△416	△852
敷金及び保証金の回収による収入	272	310
補助金の受取額	8	—
その他	△360	△180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,173	△14,501
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△2,243	△1,930
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△941	△1,020
配当金の支払額	△890	△890
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,075	△3,841
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,566	△8,298
現金及び現金同等物の期首残高	27,728	21,668
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,162	13,369

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

商品区分別売上状況

(単位：百万円、%)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年6月1日 至 2017年11月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年11月30日)		(参考) 前期 (自 2017年6月1日 至 2018年5月31日)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
医薬品	41,985	15.5	45,761	15.3	85,772	15.4
化粧品	28,326	10.5	31,291	10.5	57,683	10.3
雑貨	45,761	16.9	49,199	16.5	93,566	16.8
一般食品	150,951	55.7	168,376	56.4	313,470	56.2
その他	3,810	1.4	3,743	1.3	7,506	1.3
計	270,835	100.0	298,372	100.0	557,999	100.0